

近畿税政連



近税政HP

令和7年(2025年)

10月10日

第275号

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 那須弘敬 / 編集人 矢田善久
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <https://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



紅の鉄路 (第3回写真コンテスト「最優秀会長賞」)

撮影：野志 幸雄 (和歌山支部)

■ 第59回定期大会・国政報告会・懇親会	3
■ 会員研修会を開催	11

焦点

今年7月20日におこなわれた参議院議員通常選挙では、後援会をはじめ、会員の皆様のご協力を得て多くの推薦議員を当選させることができた。その中で、国民民主党と参政党とが大きく議席を獲得した。まだまだ小さな勢力かもしれないが、大きな変化の始まりのような気がする。

特に参政党の躍進は単なるブームではなく、若い世代の保守への目ざめ、年配世代の保守への確信、特に歴史認識、既存メディアの報道のあり方等に共感したのではないだろうか。情報の入手媒体がテレビや新聞、雑誌からSNSが主流となった今、発信される情報の内容も多岐にわたり、真偽の程も判断が難しくなっている。

時代の変化を感じる

誰の言葉を信じるか、今や誰からの発信なのかが真偽の判断基準になっているのではない。そういう意味では、オールメディアと呼ばれる既存メディアは信用度が低下しているのではないだろうか。オールメディアが、SNS情報を批判すればするほど自らに跳ね返って、ますますその信用度を下げているように見えてならない。新しい政党、若い代表が、既存の古い考え方やものの見方に立ち返ったとき、若い世代には新しい発見に繋がり、新鮮に感じ、保守的な考え方に目ざめ、浸透していく。ここに新たな時代を感じずにはられない気がする。まさに、「温故知新」の時代がきたのではないだろうか。

(副幹事長 小寺隆弘)

第59回定期大会・国政報告会・懇親会

～令和7年9月5日(金) 帝国ホテル大阪～

定期大会



9月5日、帝国ホテル大阪で、近畿税理士政治連盟の第59回定期大会が開催された。

定期大会の構成員は、近税政規約第28条第1項により「毎年7月1日現在の支部連に所属する会員50名ごとに1名の割合で、支部連会長が推薦する代議員をもって構成する」と定められていることにより、本定期大会の代議員の数は314名である。

司会の小寺隆弘組織委員長の開会宣言のあと、出席者全員が起立し国歌斉唱と、この1年間に亡くなられた会員に対し黙とうをささげた。

次に来賓の鈴木崇晴日本税理士政治連盟副会長、石原健次近畿税理士会会長および小島善弘名古屋税理士政治連盟総務会長の紹介に続き



刀祢真大議長（左）、高岡稔副議長（右）

て、浅田巨博相談役、大高友紀相談役、久保直己相談役、澤田千博相談役、河田秀雄相談役および金子紀行相談役の紹介があった。

議案審議にあたり、議長に刀祢真大代議員（和歌山）と副議長に高岡稔代議員（東大阪）が選任され議事に入った。



議案説明 長谷川隆史 幹事長

第1号議案の令和6年度運動経過報告承認の件と第2号議案の令和6年度収支決算承認の件が一括上程、審議され、可決承認された。次に、第3号議案の令和7年度運動方針承認の件、第4号議案の令和7年度委員会活動方針承認の

各号議案の採決結果

項目		出席者	賛	否
第1号議案	本人	130	多数	—
	委任状	143	143	0
第2号議案	本人	130	多数	—
	委任状	143	143	0
第3号議案	本人	142	多数	—
	委任状	133	133	0
第4号議案	本人	142	多数	—
	委任状	133	133	0
第5号議案	本人	142	多数	—
	委任状	133	133	0
第6号議案	本人	142	多数	—
	委任状	133	133	0
第7号議案	本人	144	多数	—
	委任状	131	131	0

件、第 5 号議案の令和 7 年度収支予算承認の件が一括上程、審議され、可決承認された。続いて、第 6 号議案の任期満了に伴う役員改選の件および第 7 号議案の大会決議承認の件が一括上程、審議され、可決承認された。

議事終了後、指名された仲田むつみ（西淀川）、百合草裕康（尼崎）、今崎善彦（奈良）、上月宏之（西宮）、吉田智代（芦屋）、小西里枝（和歌山）、山野展弘（東住吉）の 7 名の会員により声高らかに大会決議文が朗読された。



大会決議文朗読

左から仲田むつみ、百合草裕康、今崎善彦、上月宏之、吉田智代、小西里枝、山野展弘の各会員

来 賓 祝 辞

●鈴木崇晴 日税政副会長

本日の定期大会ではすべての議案について承認されましたことおめでとうございます。

東京地方税理士政治連盟でもやはり会費と納入率というのが一番問題になっておりまして、8 月 6 日の定期大会において、会費を倍の値上げで可決しました。東京地方税理士政治連盟は納入率が約 52% です。会費を倍にしたらどうなるかということで、1 割減少しても、十分黒字でやっていけるだろうと。幹事会では納入率を上げる方が先だという意見もありましたが、5% 上がっても 4,000 人のうち 200 人、それでも 200 万円しか入ってこないのです。納入率は最終的には税理士会支部と税政連支部と後援会が三位一体になってやらない限りは、何をやっても無駄です。主義主張ではなくて、私達が無償独占



鈴木崇晴 日税政副会長

を守るためにやっているんだということをよく理解していただいた上で、納入率が上がっていくようになればと思います。近税政も 30% 台ということで非常に苦勞されていることと思います。なかでも税理士法人の問題が一番大きいと思いますが、なかなか難しいというのが現状です。

皆様のより一層のご協力をお願いいたしまして、那須会長の間に 5% ぐらい納入率が上がるように頑張っていただけだと思います。本日はありがとうございました。

●東秀優日税政会長メッセージ（代読）

本日は、近畿税理士政治連盟の第 59 回定期大会の開催に心からお慶び申し上げます。日ごろから日本税理士政治連盟の会務運営に対し、格別のご高配を賜り深謝申し上げます。

本日は日税政の現在の諸課題についてご報告させていただきます。

国政選挙は、税政連にとっても最も重要な活動です。税政連の推薦議員を一人でも多く国会に送るため、今後も税政連の活動に対して、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本日で参会の皆様のご健勝と貴連盟の益々のご発展を切にお祈りいたしまして、祝辞といたします。

（和歌山支部 宮下智之）

●石原健次 近税会会長

皆さま、こんにちは。本日は近畿税理士政治連盟第 59 回定期大会が盛大に開催され、提案議案が滞りなく可決承認されましたことを心より



石原健次 近税会会長

お喜び申し上げます。那須弘敬会長をはじめ役員・代議員の皆様方には、税理士制度の維持発展のため多大なるご支援ご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。また、本定期大会をもって退任される役員皆様のごこれまでの活動ご苦労に敬意を表しますとともに、新役員の皆様には今後一層のご活躍を祈念申し上げます。

近畿税理士会は、税理士の使命・職責に鑑み、税理士の義務の遵守、職務の改善・進歩を目的とする特別法人であり、一方近畿税理士政治連盟は、税理士会では行うことができない政治活動を行い、両者は表裏一体、車の両輪として活動してまいりました。令和4年の税理士法改正の実現も、まさに政治連盟の政治力なくしては成しえないものでした。

税理士業界には、我々の関与先の大部分を占める中小企業の活性化の推進、地方公共団体の内部監査人制度ほかの税理士の役割拡大など多くの課題が山積しており、貴連盟との緊密な連携が重要であると認識しております。

要望実現には、税理士会がとりまとめた意見を建議書として提出し、国会での立法に結びつける必要があります。その過程で不可欠なのが、政治家の先生方の理解と協力です。したがって、会員一人ひとりが会費を支払い、後援会活動や選挙での投票を通じて意思を届けることが何より重要であります。

税制は近年複雑化し、納税者に分かりにくいものとなっています。税理士自らが声を上げ、公平・中立・簡素な税制、持続的に発展すべき税

理士制度の確立のために行動することが求められております。どうか会員の皆様におかれましては、後援会への参加を通して、国会議員の先生方に直接思いを伝えていただきたいと存じます。

結びに、近畿税理士政治連盟のますますの発展と、皆様方のご健勝ご活躍を祈念し、私からの祝辞とお願いとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

続いて、小島善弘名税政総務会長より飯島明伸名古屋税政連会長の祝辞が披露された。

●小島善弘 名古屋税政連総務会長

厳しさを増す環境のなか、事業者が取り組まなければならない課題は山積しています。税理士業界においても税制改正への対応だけではなく、唯一の税務の専門家として高い資質を確保するとともに国民、納税者に対し果たすべき役割を自覚し、責任ある行動を示すことが求められています。日本の政治の転換期となった今、政治連盟は公平、中立、簡素な税制改正に取り組む国会議員に対し、われわれの要望を実現するために、税理士による後援会活動を通じて粘り強く陳情を行っていく必要があります。

名古屋税政連と近畿税政連とはより一層の連携と協力を図りながら積極的に税政連活動をおこなっていきます。

代読の後、小島総務会長から、日税政では正副幹事長会と広報委員会で活動している。日税政の全国的な活動にもご理解とご協力をいただきたいと思います。



小島善弘 名古屋税政連総務会長

退任役員あいさつ

伊田憲司前副会長が、任期満了により退任する役員を代表してあいさつをおこなった。



退任役員挨拶 伊田憲司 副会長

多くの先輩方のご助力により税政連活動を続けてこられました。また、国会議員との付き合いの中で政治の難しさも勉強することができました。

後任の役員も積極的に会務に対応していただけると安心し、期待しています。

一方で、税政連活動を理解し、事業参加や会費納入する税理士会員の減少が懸念されます。皆様にはぜひご友人等へのお声がけをお願いいたします。

税理士制度と税理士政治連盟は永久に不滅です。

新任役員あいさつ

役員改選により選任された新役員が登壇し、代表して那須弘敬会長よりあいさつがあった。

役員・支部・支部連の表彰

役員表彰規程により役員表彰、会費収納率に顕著な成果をあげた支部、支部連の表彰が執り行われた。

最後に、小畑雅人副会長の閉会あいさつをもって、定期大会は盛会のうちに閉会した。

(※表彰内容は7ページ参照)

(下京支部 吉田和之)

国政報告会

定期大会終了後、国政報告会が和田浩孝国対委員長の下により開催された。多忙な時期にも関わらず20名以上の国会議員等・秘書の出席があった。各議員の報告は次のとおりである。
堀井巖議員 参院選での支援への感謝と党再生への決意を表明した。

小林茂樹議員 不動産税制など地方密着型の政策に取り組む姿勢を示した。

浮島智子議員 租税教育の推進に注力し、子どもたちへの教育機会の拡大を提案。

松川るい議員 自民党の結束と再建の必要性を訴えた。

池下卓議員 政治資金規正法の改正や会計の透明性向上を進める姿勢を表明。

宗清皇一元議員 中小企業の経営環境に触れ、経済対策と政治の安定を強調。

谷川とむ前議員 税制建議への理解を示した。

山田賢司議員 税制改正における税理士の意見を重視する旨を述べた。

大串正樹議員 経済産業副大臣として中小企業対策への取り組みを報告。

中山康秀元議員 税制の複雑さを実感していることを述べた。

勝目康議員 経済成長と税制の役割を論じ、京都の宿泊税など具体例を提示。

大西宏幸元議員 外交・安全保障に対応できる政治の必要性を強調。

山本香苗元議員 次期衆院選に向けた決意を表明。

國重徹前議員 税務訴訟リスク回避に関する講演会の取り組みを紹介。

伊佐進一前議員 毎朝10分、与党の目線でユーチューブ発信している点を紹介。

左藤章元議員 国を建て直し、国民を守る政策の必要性を強調。

続いて、国会議員秘書より、欠席議員に代わり祝辞と活動報告が述べられた。最後に室谷澄

男副会長より参加の謝辞、租税教育や税制改正要望の重要性を述べ、国政報告会は終了した。

副会長の発声のもと万歳三唱をしてお開きとなった。

懇親会

引き続き場所をエンパイアルームに移して、金属探知機の設置や多くのSPの警備で、非常に物々しい雰囲気の中で懇親会が開催された。

懇親会では、矢田善久広報委員長が司会を務め、相内隆作副会長が開催を宣し、杉久武議員による乾杯の発声により始まった。懇親会から参加された中野洋昌国土交通大臣の祝辞をはじめ、国会議員等が祝辞を述べた。最後に出川洋



最後に全員で万歳三唱

(奈良支部 西口まゆり)

■ 第59回定期大会における表彰

支部および支部連の表彰

1. 令和6年度会費収納率第1位

- ①支部連(第1条第1号)
和歌山県支部連合会
- ②支部(第2条第3項第1号)
 - 第1グループ(予算額500万以上)
該当なし
 - 第2グループ(予算額100万以上500万未満)
和歌山支部
 - 第3グループ(予算額100万未満)
水口支部

2. 令和5年度から令和6年度の会費収納率の純増1位

- ①支部連(第1条第2号)
和歌山県支部連合会
- ②支部(第2条第3項第2号)
 - 第1グループ(予算額500万以上)
該当なし
 - 第2グループ(予算額100万以上500万未満)
岸和田支部
 - 第3グループ(予算額100万未満)
御坊支部

3. 令和6年度会費収納率が50%以上かつ、令和5年度収納率から純増

- ①支部連(第1条第3号)
和歌山県支部連合会
- ②支部(第2条第3項第3号)
 - 第1グループ(予算額500万以上)
該当なし
 - 第2グループ(予算額100万以上500万未満)
 - 和歌山支部
 - 東大阪支部
 - 草津支部
 - 岸和田支部
 - 第3グループ(予算額100万未満)
 - 舞鶴支部
 - 近江八幡支部
 - 御坊支部
 - 西脇支部

4. 令和5年度会費収納額から令和6年度会費収納額の純増額5位まで

草津支部 須磨支部 西支部 岸和田支部 近江八幡支部

役員表彰者

①規定第3条第1号により役員通算10年以上在職された皆様

岡田彰徳 小塩 明 澤田真司 富村将之 那須弘敬 濱田明久 原 均
藤田 徹 堀 博充

②規定第3条第2号により本部執行部を退任される皆様

旭 輝明 伊田憲司 山本真市 脇阪説男 小寺隆弘 佐茂省治 木村敏之

③規定第3条第3号により後援会会長として10年以上在職された皆様

平山直樹

④規定第3条第3号により後援会会長・幹事長を退任された皆様

原 均 石永善裕 竹内芳彦 古淵孝仁 平山直樹 辻井賢博 米田昌弘
島淵裕一

⑤規定第3条第3号により本連盟の発展に功労があった皆様 (特別表彰)

後安宏彦

(敬称略)

第59回 定期大会 国政報告会



堀井 巖 参議院議員



小林茂樹 衆議院議員



浮島とも子 衆議院議員



松川るい 参議院議員



池下 卓 衆議院議員



宗清皇一 前衆議院議員



谷川とむ 前衆議院議員



山田賢司 衆議院議員



大串正樹 衆議院議員



中山泰秀 元衆議院議員



勝目 康 衆議院議員



大西宏幸 元衆議院議員

第59回 定期大会議案書

第59回定期大会議案書は、こちらより閲覧可能です。

<https://kinzeisei.jp/giansho/>



懇親会 来賓 国会議員等



杉 久武 参議院議員



西村康稔 衆議院議員



とかしきなおみ 元衆議員議員



中野洋昌 衆議院議員



山本香苗 前参議院議員



國重 徹 前衆議院議員



伊佐進一 前衆議院議員



左藤 章 元衆議員議員

※写真は登壇順

代理人出席の皆様

伊藤孝江 参議院議員
こやり隆史 参議院議員
加田裕之 参議院議員
赤羽一嘉 衆議院議員
盛山正仁 前衆議院議員
うえの賢一郎 衆議院議員
末松信介 参議院議員

佐藤本和 啓宏 参議院議員
宮本健太 参議院議員
泉岡敏早 衆議院議員
大岡早苗 衆議院議員
高橋光男 衆議院議員
松本剛明 衆議院議員
石川博崇 衆議院議員
前原誠司 衆議院議員

首長・府会議員・ 市会議員の皆様

野田義和 東大阪市長
堤征一郎 木津川市議会議員
松本直高 交野市議会議員
出雲有希子 明石市議会議員

本部役員一覧

(敬称略)

会長	那須 弘敬 (北)		
副会長 (10名以内)	小畑 雅人 (今津)	田 達満 (住吉)	相内 隆作 (神戸)
	出川 洋 (葛城)	矢田 善久 (上京)	室谷 澄男 (上京)
	岡本 正 (下京)	後藤加代子 (姫路)	木村 雅彦 (和歌山)
総務会長	橋本 光世 (枚方)		
総務副会長	坂口 明久 (天王寺)	中谷 隆夫 (東山)	
総務 (22名以内)	相間 宏章 (東)	秦 雅彦 (港)	植木 心一 (東)
	辻本 典彦 (天王寺)	榮村 聡二 (浪速)	前川 武政 (大淀)
	清水 佳子 (門真)	市木 雅之 (下京)	藤田 隆大 (神戸)
	田中 信大 (大淀)	平安 孝至 (豊能)	富村 将之 (下京)
	野坂 喜則 (彦根)	北村光一郎 (左京)	石田 泰三 (天王寺)
幹事長	長谷川隆史 (灘)		
副幹事長 (7名以内)	和田 浩孝 (豊能)	吉田 智代 (芦屋)	池田 直樹 (灘)
	額田 朋子 (和歌山)	小川 宗彦 (大津)	山本 敬三 (天王寺)
	藤原 功子 (兵庫)		
幹事 (25名以内)	仲田むつみ (西淀川)	山川 典男 (阿倍野)	今村 亮彦 (旭)
	若林日出紀 (南)	服部 浩之 (住吉)	米澤 博充 (東山)
	梅崎 道夫 (東)	山内 幹雄 (茨木)	
	檜垣 典仁 (浪速)	山口 孝浩 (東淀川)	太田 聡 (茨木)
	大谷富太郎 (堺)	小林 由香 (中京)	西口まゆり (奈良)
	小西 里枝 (和歌山)	吉川 孝二 (草津)	
	松尾 康弘 (茨木)	森本 勝志 (住吉)	島 紀郎 (和歌山)
会計監事 (3名以内)	山田 裕一 (天王寺)	泉谷 正人 (南)	足立 圭 (桜井)
推薦審査会長	那須 弘敬 (北)		

令和7年9月5日

※総務及び幹事については、上記以外に支部連会長が自動的に総務になり、また、支部連幹事長が同じく幹事になる(各々13名)。

会員研修会を開催

8月2日 国民會館大阪城ビル

近畿税理士政治連盟会員研修会が昨年に引き続き盛大に開催された。

近税政那須会長のあいさつに続き、研修会は、2部構成で実施された。

第1部 「日本列島を、強く豊かに」

高市早苗 衆議院議員



先般の参議院議員選挙の結果、自民党には厳しい結果になった。みなさんの関心のあるところの税制については、不確定要因が多くなってきている。例えば、消費税の税率のこと、与野党で合意しているガソリンの暫定税率の廃止の時期などについて与野党で調整することになる。

関税に関する日米合意については、これから内容が明らかになってくると思う。25%が15%になると思われているが、従前は例えば織物は7.5%、自動車と関連部品が2.5%であったことを考えれば、貿易や経済に与える影響は大きいと思われる。わが国では憲法で租税法律主義が規定されているため、必ず国会が関与することになっている。今回のトランプ大統領の措置は国際協定違反であると考えている。アメリカでも同じだと思うが、これだけ世界中に影響を及ぼすことを大統領令だけでやるということはあるのか。また、合意文書を作らないということなので、最終的に何が決まったのか分からない状況である。日米安全保障条約の関係でアメリカとの交渉に及び腰になっているようにもみえ

る。

外国人の土地取得を問題にする人がいる。財産権の問題で対応が難しい。ただ、防衛施設用地、港湾、原発などの重要な土地は制限する必要がある。

現在、イギリス、イタリアと戦闘機を共同開発をしている。デュアルユースの部品を開発している。戦闘機は30年以上にわたって使用される。その間のメンテナンスなど持続的な事業となる。また、その技術が民間で生かされることになる。日本の技術を社会で実現することができる。食糧安全保障、エネルギー安全保障、国土強靱化、サイバー安全保証、例えば6センチの誤差しか生じない測位衛星などの宇宙技術、食物工場など今後成長が見込まれる分野がたくさんある。今後、このような成長分野を育成していくようにしたいと考えている。

不安の時代において、将来に希望が持てるような内容の研修会であった。

第2部 「令和8年度税制改正について」

秋山典久 日税政政策委員長



令和8年度税制改正建議書が6月25日で日税連で機関決定された。これを受けて日税政でも令和8年度税制改正に関する要望が機関決定された。日税政としてどの要望項目を重点に陳情活動を進めていくかについて解説があった。

(堺支部 大谷富太郎)

後安宏彦 副会長を偲んで

令和 7 年 7 月 4 日、近畿税政連副会長の後安宏彦先生がご逝去されました。ほぼ 20 年の長きにわたり、広報の委員に始まり副委員長・委員長・担当副会長の要職を勤めて来られました。

毎年われわれ税政連は国会議員に対し税制改正の要望を行い、12 月には与党の税制改正大綱が発表され、その直後にわれわれの要望項目がどれだけ実現したかを確認し、「近税政 FAX News」を発行する作業に入ります。大綱の文言を忠実に要約して最後に A 4 一枚にまとめたのが後安先生でした。意見を交わしたことも多々ありましたが、何事にも深い洞察力をもって的確に判断され、会員の皆様からの信頼も大変厚かったと思います。

後安先生で一番印象に残っているのは、毎年、定期大会懇親会での最後の締めとなる恒例の「万歳三唱」でした。いつも最初に「手のひらを前に見せると『降参』になるので、手のひらを内側に向けるのが正しい万歳」と説明が入り、会場全体が「万歳、万歳、万歳」と大きな声が響き渡りました。

実直でいつも温かい笑顔。たくさんの思い出をありがとうございました。

どうか安らかに眠り下さい。

(副会長 住吉支部 田 達満)



近税政定期大会での万歳三唱 (令和 6 年 9 月 13 日)

令和 7 年 7 月 4 日、近税政第 1 回広報委員会が終了するとすぐに、後安近税政副会長の訃報が入った。突然の訃報にみな耳を疑った。

後安副会長は、常に税理士会および税理士政治連盟の発展と成長を最優先に考え、計り知れない貢献をされました。後安副会長の深い知識と情熱は、多くの税理士に影響を与えてくれました。また、その指導力は数えきれないくらい、われわれ税理士の使命を形作りました。ただ単に知識が伝えられるだけでなく、思考する力と好奇心を育んでくれました。私たちは、後安副会長のような偉大なリーダーを失うことで大きな損失を被りましたが、後安副会長の残した財産は私たちの心に永遠に生き続けます。後安副会長の情熱、知恵、そして人間性は、これからも私たちの指針となるでしょう。後安副会長の温かい人柄と親しみやすさは、私たち全員に愛され、深く尊敬されていました。そしてその



二階俊博議員との懇談

存在は、私たち近税政組織を豊かにし、多くの人々の心に深い感動を残しました。

後安副会長のご冥福を心からお祈りし、私たちに遺してくれたすべてに感謝します。後安副会長のことは決して忘れません。

こんなにも後安先生のことを褒めても、後安先生、もう居ないんですね…。実は、後安先生が亡くなられる少し前に、「小西さん、鰻食べる？来月になったら送るから～」っておっしゃってたんですよ。後安先生、鰻、まだ届かないですよ…。

(広報副委員長 和歌山支部 小西里枝)

後援会ニュース

武村展英後援会

6月21日クサツエストピアホテルにおいて、武村展英後援会の定期総会が開催された。来賓として、武村展英衆議院議員、那須弘敬近税政会長、長谷川隆史同幹事長、織戸英信滋賀県支部連会長、古澤宏之同幹事長が出席した。



橋本淳幹事長の司会のもと、中川徳親会長より、日頃からの活動へのお礼のあいさつがあり、続いて倉本貴夫会員の議長進行により役員改選を含めた全議案のすべてが可決承認された。

引き続き、武村議員より国政報告がおこなわれた。武村議員は前の衆院選で5期目の当選となり、党金融調査会の企業会計小委員長の職に就いている。政府や与党が会計基準の提言や発言をすることは会計基準設定主体の独立性に疑義を生じさせる行為で慎むべきであるが、「のれん」の償却方法や、有価証券報告書と会社法上の計算書類の開示時期についての相違など、我が国の企業会計を取りまく課題について議論し、市場信頼性を高め続けることに引き続き努力していきたい。また、農産品の全体について、生産から流通にわたる合理的な価格形成によって食料システム全体の持続的な食料自給を実現し、食料安全保障の確保を図る観点から、食料システム法の制定が実現できた。今後も農政をライフワークとしていきたい。

総会終了後、意見交換がおこなわれ、盛会裏のうちに散会した。(草津支部 吉川孝二)

勝目やすし後援会

開催日 令和7年6月28日

場所 ホテル日航プリンセス京都

来賓 勝目やすし 衆議院議員

長谷川隆史 近税政幹事長

中谷 隆夫 近税政京都府支部連会長



総会に先立ち、鹿野幸裕会長より勝目議員の日頃の活動に対する協力に対して謝辞を述べられた。引き続き鹿野会長が議長となり議事が進行し、上程された議案はすべて可決承認された。その後、来賓の長谷川近税政幹事長よりお祝いのあいさつがあった。

勝目議員の国政報告会に続いて懇親会へ移り、議員を囲み和やかな雰囲気の中に閉会となった。

勝目やすし衆議院議員国政報告要旨

少数与党として迎えた通常国会、「熟議の国会」といわれたが、本当の姿は欧州で起きている世論の分断と同じ道をたどりかねない状況にある。国会会期末のガソリン暫定税率廃止法案については、EVの普及等を前提に税体系から考えないといけない。物価高騰、教育、社会保障、米国や中国等の予見が難しい国際情勢、実際に何が起きているのか一人でも多くの方にしっかり伝えていかなければならない。それぞれの政策は、将来像、ビジョンを示し、そこへの道順を定めていくことが重要と心得て活動していく。(中京支部 小林由香)

令和 7 年 (2025 年) 昭和 100 年、大阪万博が昭和 45 年に開催され早や 55 年。私は当時中学 3 年で 5 月 3 日に行ったと日記に書いてある。人類の進歩と調和がテーマで入場料は 800 円だった。ソ連館の記念バッジも残っており、アメリカ館には入れず、アポロ 14 号が持ち帰った月の石をその後 2 回行っても見られなかったのが唯一の心残りである。それでも K F C を食べられたので良しとしておく。日記には今ほど猛暑もなく、夏休み中でも 30 度超えは数える位と記されている。世界が平和で、大阪・関西万博が無事に終了しますように祈念します。

(上京支部 東智之)



8 月 2 日に近税政の研修会があり「日本列島を、強く豊かに」という演題の高市早苗衆議院議員の講演を受講した。日本は 90 年代に、土地取引を留保せずに GATT に加入したため外国人は自由に日本の土地を買えるし有事になると軍事拠点に出来るが、憲法により国際法が国内法の上位にあるため制御できない。日米安保条約には、米軍が日本の自衛隊の前に立って戦うとは書いていないため、緊急事態に対応できる防衛力の整備は必要だ、という議員の言葉に納得した。(奈良支部 西口まゆり)

今年も収穫の時期がやってきた。我が家は 30 a 程度の零細農家で、収支はここ数十年ずっと赤字である。昨年からの概算金上昇のおかげで、なんとか直接材料費を賄えるようになったが、農機具の減価償却費を算入するとやはり赤字である。概算金上昇は新米の小売価格を直撃し、一昨年の倍近い額になっている。そこで消費者にも買い方の工夫をお願いしたい。例えば精米済 5 kg ではなく、生産者即売所で玄米 10 kg 単位なら安く買える。また家庭用米冷蔵庫の保管で食味低下は抑えられる。持続可能な農業のためにお願いしたいと思う。

(草津支部 吉川孝二)

近税政本部のうごき

○政策・国対・後援会対策合同委員会(7月11日)

- 第 59 回定期大会の開催に関する件

○財務・組織合同委員会(7月17日)

- 第 59 回定期大会の開催に関する件
- 財務状況について

○第 1 回正副幹事長会(7月22日)

- 第 59 回定期大会の開催に関する件

○第 1 回幹事会(7月22日)

- 第 59 回定期大会の開催に関する件

○第 1 回総務会(7月30日)

- 第 59 回定期大会の開催に関する件

最新情報はホームページにアクセス！

近 税 政

検 索

または <https://kinzeisei.jp/> へ

.....
会員専用ページのパスワードのお問い合わせは事務局まで

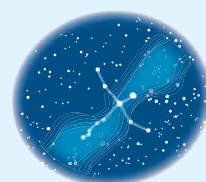
銀河系

日本政治の転換点

7 月の参院選の結果は

自民・公明の与党にとって「負けに不思議の負けなし」となり、少数与党政権が確定した。今後の国会はねじれの中で与野党の合意形成が不可欠となり、政局は不安定さを増している。一方、国内では物価高やコメ騒動が続く、国際的には米国トランプ政権による追加関税交渉、台湾有事リスクといった外的要因が経済を揺るがす。こうした複合的な課題の中で、中小企業は原材料費や人件費の上昇、輸出入コスト増に直面しており、賃上げ促進税制や投資減税、人材育成支援など、実効性ある政策が急務だ。政治が多様な声を反映しつつ、スピード感を持って現場の課題に応えることができるか。新たな政治力学は、安定多数から流動的政策連合への転換点となった。持続可能な経済基盤づくりが、今まさに問われている。日本の復活に向けて胸突き八丁、今こそ力を結集し峠を越えよう。

(大津支部 小川宗彦)



／ ご存知ですか？ ／

神戸税協組合員のトク・トク・トク！

特典
いっぱい

知って
納得

使って
お得

- 業務に役立つ書籍の割引購入を斡旋しています。
- 神戸税協独自の研修会にご参加いただけます。
- 提携企業の商品・サービスの優待割引をご利用いただけます。
- 関与先に共済制度や不動産の紹介を行うと、手数料を受け取れます。
- スポーツ観戦・観劇・イベントなどを割引価格でご利用いただけます。
- 配当金を受け取れます。(年度によります)



神戸税理士協同組合

〒651-0086 神戸市中央区磯上通4丁目2番22号
Tel.078-262-6621 Fax.078-262-6641

ホームページでも
検索できます ▶▶▶



<https://www.kobe-zeikyo.net>

税理士(法人)事務所・関与先繁栄のパートナー！
仕事やプライベートに使って便利な組合員特典！



あっせん提携企業をご利用ください！

税理士業務関連

報酬自動支払制度、OA機器
オフィス家具、印鑑、ゴム印、名刺
書類溶解処理、M&Aの仲介 など



不動産業務関連

建築請負・売買、増改築、リフォーム
仲介、鑑定、評価 など



共済・損害保険関連

小規模企業共済、セーフティ共済
火災保険、自動車保険
旅行保険 など



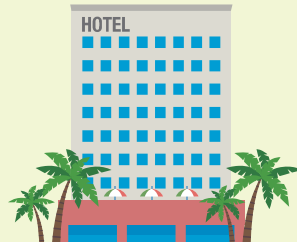
生活関連

宝飾品、衣料品、生活雑貨
冠婚葬祭、健康診断
衣類等のクリーニング など



レクリエーション関連

フィットネス、ホテル・宿泊
観劇チケット など



ゴルフ関連

ゴルフアース保険
ゴルフ会員権売買



カーライフ関連

カーリース、中古車査定買取
自動車保険、新車・中古車販売



WEB販売

書籍、筆記用具、PC など



その他

クレジットカード、ローン、資格取得
胡蝶蘭の販売 など



大阪・奈良税理士協同組合